

研究大会指導案（国語科） 令和4年10月21日（金）5時間目

1. 単元構成・計画

教科名	国語科	学年	3年	時期	9～10月	
単元名	単元5 旅への思い 芭蕉と『おくのほそ道』					
目標	知識及び技能 【1】	歴史的背景などに注意して古典を読むことを通して、その世界に親しむことができる。(3)ア				
	思考力、判断力、表現力等 【1】	文章を批判的に読みながら、文章に表れているものの見方や考え方について考えることができる。C(1)イ				
	学びに向かう力、人間性等 【1】	言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を通して自己を向上させ、我が国の言語文化に関わり、思いや考えを伝え合おうとする。				
評価	評価の観点	評価規準	評価材料			
	知識・技能 【1】	歴史的背景などに注意して古典を読むことを通して、その世界に親しもうとしている。	①帯単元 CBT ②音声ファイル ①授業(口語訳) CBT ②授業(内容) CBT			
	思考・判断・表現 【1】	「読むこと」において、文章を批判的に読みながら、文章に表れているものの見方や考え方について考えようとしている。	①スライドシート			
	主体的に学習に取り組む態度 【1】	積極的に古典に表れたものの見方や考え方について考え、学習の見通しをもって、パンフレットの紹介文を書こうとしている。	①ドキュメントシート			
指導計画			評価計画			
時数	指導内容			知	思	主
1	芭蕉という作者の人物像と『おくのほそ道』の道中の過程を知り、芭蕉という人物について感想をもつ。					【1】 ①
2	「おくのほそ道」を音読し、芭蕉の行動や古文の展開の意味を考え、パンフレットの紹介文をつくる。			【1】 ①② ①②	【1】 ①	【1】 ①
3	「平泉」を音読し、芭蕉の行動や古文の展開の意味を考え、パンフレットの紹介文をつくる。			【1】 ①② ①②	【1】 ①	【1】 ①
4 (本時)	「立石寺」を音読し、芭蕉の行動や古文の展開の意味を考え、パンフレットの紹介文をつくる。			【1】 ①② ①②	【1】 ①	【1】 ①

※○主に評定に用いる評価 ●主に学習改善につなげる評価

2. 本単元における CBT および Google フォーム等の ICT の活用の場面について

1	主①：【ドキュメントシート】<芭蕉メモ>への記入
2	知①②：【帯単元 CBT】仮名遣い問題・【音声ファイル】音読 知①②：【授業(口語訳) CBT】口語訳・【授業(内容) CBT】内容 思①：【スライドシート】パンフレットの紹介文 主①：【ドキュメントシート】<メモ>への記入
3	知①②：【帯単元 CBT】仮名遣い問題・【音声ファイル】音読 知①②：【授業(口語訳) CBT】口語訳・【授業(内容) CBT】内容 思①：【スライドシート】パンフレットの紹介文 主①：【ドキュメントシート】<メモ>への記入
4	知①②：【帯単元 CBT】仮名遣い問題・【音声ファイル】音読 知①②：【授業(口語訳) CBT】口語訳・【授業(内容) CBT】内容 思①：【スライドシート】パンフレットの紹介文 主①：【ドキュメントシート】<メモ>への記入

3. 本時案 (4/4)

(1) 本時の目標		
知識及び技能 【1】	歴史的仮名遣いなどに注意して音読し、口語訳や内容面の CBT に答えることで、作品の世界を実感的に捉えることができる。(帯単元 CBT・音声ファイル・授業(口語訳)CBT・授業(内容)CBT)	
思考力、判断力、表現力等 【1】	芭蕉の行動や俳文の展開の意味を考えながら、自分の知識や経験と照らし合わせた紹介文を作成することができる。(スライドシート)	
学びに向かう力、人間性等 【1】	積極的に古典に表れたものの見方や考え方について考え、学習の見通しをもって、パンフレットの紹介文を書くことができる。(ドキュメントシート)	
(2) 学習の展開		
学習活動	教師の働きかけ	指導上の留意点 ●・○評価の方法
1. 前時を想起する。 2. 本時の学習課題を知る。	1. 前時を想起させる。 2. 本時の学習課題を説明する。	主①ドキュメントシート →50分を通して
<b>本時の学習課題：「立石寺」を音読し、芭蕉の行動や古文の展開の意味を考え、パンフレットをつくらう</b>		
3. 帯単元 CBT に取り組む。 4. 「立石寺」を音読する。	3. 歴史的仮名遣いなどに注意させる。 4. 「立石寺」を音読させる。	知①帯単元 CBT 知②音声ファイル
5. 芭蕉の行動や俳文の展開の意味を知る。	5. 口語訳や内容に着目し、芭蕉の行動や俳文の展開の意味を説明する。	知①○授業(口語訳)CBT 知②○授業(内容)CBT
6. パンフレットの紹介文を作成し、スライドシートに貼り付ける。 7. パンフレットの表紙に、今までのまとめとなる紹介文を作成し、スライドシートに貼り付ける。	6. 芭蕉の行動や俳文の展開の意味を意識させ、自分の知識や経験と照らし合わせた紹介文を作成させる。 7. 芭蕉の人物像や「旅立ち」・「平泉」「立石寺」などの俳文や俳諧を想起させ、自分の知識や経験と照らし合わせた紹介文を作成させる。	思①スライドシート
(3) 主に学習改善につなげる評価と改善の手だて		
知識・技能 【1】	C	教科書を開かせ、歴史的仮名遣いの部分を確認し、現代仮名遣いに直させる。(帯単元 CBT)
	C	漢字の読み間違いやすい部分を指摘し、ふりがなをふらせる。(音声ファイル)
(4) 主に評定に用いる評価と改善の手だて		
知識・技能 【1】 授業(口語訳)CBT	A	・<メモ>の記述量が多い ・<メモ>の記述内容が優れている など
	B	授業(口語訳)CBT で、満点 or 満点に準ずる結果を残すことができている。
	C	授業(口語訳)CBT で、満点 or 満点に準ずる結果を残すことができていない。 ・フィードバックを参考にさせる ・1単語ずつに区切り、口語訳させる
知識・技能 【1】 授業(内容)CBT	A	・<メモ>の記述量が多い ・<メモ>の記述内容が優れている など
	B	授業(内容)CBT で、満点 or 満点に準ずる結果を残すことができている。
	C	授業(口語訳)CBT で、満点 or 満点に準ずる結果を残すことができていない。 ・フィードバックを参考にさせる ・誤答について、個別に解説を加える
思考・判断・表現 【1】	A	・芭蕉の人物像に触れる記述がある ・作品の価値に触れる記述がある など
	B	芭蕉の行動や俳文の展開の意味を考えながら、自分の知識や経験と照らし合わせた紹介文を作成しようとしている。
	C	芭蕉の行動や俳文の展開の意味のみで、紹介文を作成しようとしている。 自分の知識や経験のみで、紹介文を作成しようとしている。 紹介文を作成することができない。 ・芭蕉の行動や俳文の展開、自分の知識や経験を結び付けた具体例を示す ・口語訳や内容 CBT のフィードバックを参考にさせたり、紹介文とはどのようなものかを説明したりする
主体的に学習に取り組む態度 【1】	A	・気づきが多い ・多くの気づきが紹介文に適切につながられている など
	B	古典に表れたものの見方や考え方について、気づいたことをメモし、紹介文につなげようとしている。
	C	古典に表れたものの見方や考え方について、気づいたことをメモする姿が見られない。 古典に表れたものの見方や考え方について、気づいたことをメモする姿は見られるが、紹介文につなげることができない。 ・気づいた部分を聞き取り、メモさせる ・メモを参考に紹介文を作成させる